

	令和5年1月13日(土) 10時00分～12時00分							
会 場	市民プラザあくろす2階 はばたき							
運 営 委 員	会場	村上 むつ子	会場	平澤 和哉	会場	横山 真理	会場	水田 征吾
	会場	加藤 和歌子	会場	毛利 勝	会場	小松 明日香	会場	原島 秀一
	会場	石井 洋子	欠席	阿部 秀樹	会場	浜本 正樹	会場	石正 房江
	会場	安藤 雄太	会場	佐竹 澄子	会場	熊谷 紀良	会場	松谷 知彦
	会場	田村 敦史	会場	ニンファ・ジャヤマーンナ				
事務局	橋本、池田、上野、涌井							

1 はじめに

各委員より近況報告を行った。

能登半島地震について、調布社協の取り組みについて共有した。

《承認事項》 10:20～10:35 (15M)

2 令和6年度予算案について

資料1

【事務局】 例年、細かい予算書で確認し承認をいただいているが、今年は簡潔にまとめた資料でご説明する。前提として、市民活動支援センターは市からの委託費と補助金に加えて、自主財源の組み合わせで運営を行っている。本日は委託費と補助金についてご説明を行う。

こちらの予算案は、市と調整の上3月の理事会、評議委員会を経て承認される予定。

委託費について、昨年度比より増額して予算提案を受けている。これは、市民活動支援センターの取り組みについて、調布市より評価を受けた結果と受け止めている。

法人の自主財源の活かし方、どう大きくしていくかを運営委員会で一緒に考えていきたい。予算について、決定次第またご報告を行いたい。

この予算案について、承認をいただきたい。

【委 員】 予算案を見ると、事業費が少ない。自主事業で得た収入は、自由に使えるという認識でよいか。また、参加費収入を事業で活用していく認識でよいか。

【事務局】 参加費収入は他事業で活用していく認識でよいが、実際は市民活動支援センターの事業は参加費が無料であることが多い。

【委員】 自主財源、収入源について、運営委員会の皆さんで考えていきたい。

【事務局】 予算案について、本日は市の予算についてご説明差し上げた。自主財源については、また考えていきたい。

運営委員によって、令和6年度予算案について承認された。

《協議事項》 10:35～11:35 (60M)

3 えんがわフェスタについて

資料2

【事務局】 資料を参照ください。当日の流れについて委員の皆さんに共有し、認識を統一したいので、ご不明点をご質問いただきたい。

申込状況として、日本国籍の方18名、外国にルーツがある方7名のお申込をいただいている。当日はもう少し増加する可能性がある。

当日の協力者を共有。調布国際交流協会講師、スピーカー3名、リフレッシュメントデザート作り3名。デザートのメニューも決定した。(4種類)

日本のおやつも準備する予定。(どら焼き) スリランカのおやつもインターネットで購入できるか検討中。

リフレッシュメントのおやつについて、市民活動支援センターの予算で購入。当日調理可能なため、前日の準備は不要。

試食をするお部屋について装飾をしたいので、前日13時～15時頃、装飾のお手伝いをいただきたい。当日の午前中にお手伝い可能な方がいらっしゃたら、おやつ作りのお手伝いをいただきたい。

通訳について、グローバル調布!のメンバーの皆さんにはウイSPリングでご協力をいただく予定。託児保育は2組予定。保育の協力は委員+2名お手伝いいただける。

役割分担について共有。第一部、調布市内在住の外国にルーツがある方のお話。第二部は「日本にきて驚いたこと」をテーマにスピーカー3名にお話をいただく。

地域住民の協力の仕方や、ボランティア活動をご紹介して、終了する予定。役割分担が決まっていない方は、調理のお手伝いをいただきたい。エプロン、三角巾、マスクをご持参いただきたい。(手袋、アルコールは事務局準備)

【委員】 時間について、タイムテーブルを知りたい。

【事務局】 当日までにはタイムテーブルを作成する。お手伝いに来ていただける方は9時、3階に集合してほしい。11時～交代で休憩、グリーティング担当の方

は、はやめにホールに来てもらい対応をお願いしたい。

【委員】 食事を提供する際、アレルギー表示についてどうするか。

【事務局】 アレルギー表示はしない。アレルギー対応が必要な人は、事務局に報告、相談をするよう、注意書きを作成したいと思っている。

【委員】 第二部のグループ分けについて、1グループどのくらいの人数か。

また、話し合った内容についてはシェア、フィードバック等の予定はあるか。

【事務局】 参加予定者45人程度。8島程度のグループを作る予定。

話し合った内容についてはシェアする時間が取れないため、2月のえんがわだより特集記事で取り上げ、報告ができと思っている。

【委員】 調理について、調理者(リーダー)から指示を受けるのであれば、担当をあらかじめ決めてもらいたい。

【事務局】 事務局で担当の割り振りを決定する。

【委員】 グリーティング担当者を、あと数名増やしてほしい。

【事務局】 調理の進み具合で当日調整する。

【委員】 UDトークは使用可能か。また、スピーカーやパネリストの名札を作成してほしい。

【事務局】 使用できるよう、事務局で準備する。当日、本人に名札(シール)を記入、貼付してもらう。

えんがわフェスタの当日の動き、役割分担について確認を行った。

4 今期の取組みについて

資料3

運営委員会の今期の取組みについて、3つのグループに分かれ、グループワークを行った。

【子ども】

・子どもグループでは、ズームで打ち合わせをした。子どもの夕方の空白時間について話し合っている。

・俯瞰的にはなんとなく把握しているが、実際の声を聴く機会はない。具体的なアクションとして、サービスを使っている人の声をヒアリングしたいと考えている。国分寺の取組の見学が出来たら、いい機会となるのではないか。

・前回のグループワークで話題にあがった、子どもが一人になってしまう時間の問題について、家庭環境に依存しているのではないか。全体のサービスとして俯瞰的にみるとは別に、不登校、虐待など、課題にフォーカスしてしまいすぎると目的がはっきりしなくなる可能性がある。

・「じょいなす」の居場所マップが作成された。市内にはいろいろな居場所がある。アウトプットとは、こういうことなのか、話を聞いてみるのも良い。こんなのがあったらいいな、という資料作りも良い。

・インタビュー対象は3～4組を対象にしたい。アウトプットはイベントもしくは調査の報告となるのか。関心は高そうだ。えんがわフェスタのテーマにするのはどうか。

・参加してない方へのアウトリーチが難しい。こども食堂の財源は民間企業の協力があると聞いている。フードバンクなども食材の提供をされている。インタビュー先として、こども食堂に協力してもらうのも良い。こども食堂は、開催頻度がバラバラ、意外と早め(時間)に終わってしまう。子どもだけでなく、誰でも参加できるような取り組みもある。かくしょうじの活動の面白いところは、お兄さんお姉さんが勉強を教えてくれるところ。様々なつながりができる。

・そもそも学童は、何時までやっているのかを知りたい。民間経営の施設は延長できるところがあるが、利用者は何時まで開館していて、預かってほしいと考えているか、ニーズ調査をすることはどうか。学童利用後、子どもの一人の時間が発生しているので、個々のニーズは違うが、困っているニーズに合わせて、「こんな場所があるよ」って情報提供できると便利なのではないか。子ども達の集まりの、過ごし方の調査。

・フリースクールについて。有料サービス、民間運営。月数万円程度。10:30～15:30がフリースクール、その後は塾のような扱い。学校に行きにくい子どもが行く場所なので、学校がない時間を補うのは学童。見学等に行ってみるのも良いのではないか。各自治体が行っているフリースクールがあるはずで、学校に登校復活できるようにする場所ではないか。

【高齢者】

高齢者へのヒアリングを実施予定。

・もともと、富士見町にあるショッピングセンターがあった時に、向かいにある場所で高齢者が一緒にお昼を食べ交流する居場所。現在は覚證寺で「もりもりサロン」として運営。

・社協、民生委員等地域の方々が関わっている。

・課題は、まだつながっていない人をどのように引き込むか。

→現在は、集まった人からの気になる人の情報から社協や民生委員の方々が様子を見訪問する。

・外に出てこない高齢者への接触は直接難しい。今回は、居場所に来ている方、運営をしている方からヒアリングを始める。

・どのようなきっかけを作って、外にでられるようにするか、もしくは、「見守っているよ」というメッセージをどのように届けるか。

・話の中に、失敗したエピソードも含めて話を聞けると他方面でも活動の活性化につながる。

- ・高齢者向けサロンの情報を広めてほしいとの声あり。きっかけづくりをもっと。
- ・情報が届いたあとは、選択枠も増え、一步踏み出せるきっかけになる。
- ・居場所においては、ちょっとしたきっかけによって来れなくなる利用者もいる
- ・情報が届いた後に、情報が届いているだけでも踏み出せなく、信頼関係がある周囲の人の一声が必要かもしれない。

もりもりサロン訪問日程：1月26日（金）12：00～

【50代】

今日は以下の3点について検討

- 1 グループ名
- 2 中長期計画との繋がり
- 3 今後の検討 3月までに何をするか

1 グループ名について

- ・前向きになれる名前が良いのでは。例えば、「あなたの力が必要」、「あなたのことを求めています」、「あなたの出番です」等、肯定的な名前にした方が良い。
- ・現在地域で活躍している人の話を聞いてみるのもいいのでは。どうしたらいいかを聞いてみる。
- ・フォーカルグループにこの課題・悩みを投げてみてもいいのでは
- ・現在すでにできているグループ、組織に入ることは難しい。（気が重い感じがする）
- ・最近のパパは子どもを連れていくところを探している。
- ・50代が求められることとはどんなことか？
家庭、イベント等いろいろある。
- ・声のかけ方、関係性が大事。
- ・結婚しないシングルの人もある
- ・仙川POST「ぼっち会」というのがある。見学しても良いかも。
- ・「あなたのできることで貢献できます」と得意なことを聞いているのも良いのでは。

◆これまでの意見を聞くとチーム名としては

「Better together」が良いのでは。そのあとに「あなたの力が必要です」とか「あなたのことを求めています」等つけたら良い。

2 中長期計画との繋がり

5本の柱のどこになるか、時間をかけて考えていきましょう。

《報告事項》 11:35～11:50 (15M)

5 第10回調布まち活フェスタについて

【事務局】 3月10日(日)午前10時から開催予定。実行委員会で検討を進めている。

6 災害ボランティア養成講座について

【事務局】 3月23日(土)あくろすホール3階

AAR ジャパンの方よりお話を聞いた。要配慮者避難についての課題を理解する必要性を感じている。発災前の平時のつながりの重要性についてしっかり学べる内容としていきたい。

市民活動支援センターの取り組みとして、次回以降も引き続き報告を行う。

《その他》 11:55～11:55 (5M)

7 情報共有

【委員】 ちょうふ子どもネット 仙川に新しく学童を開設。

職員の募集を行う予定。学童で働きたい方がいらっしゃいましたら情報提供をいただきたい。

【委員】 ボランティアフォーラムのチラシが完成した。ぜひご参加いただきたい。

8 今後の市民活動支援センター運営委員会の開催日時と議案について

資料4

- ・ 1月21日(日) えんがわフェスタ (前日準備あり)
- ・ 2月16日(金) 15時～17時
- ・ 3月10日(日) 第10回調布まち活フェスタ
- ・ 3月19日(火) 19時～21時 ⇒当初予定の3月20日から変更しました